

自由民主党福岡市議団

我々自由民主党福岡市議団は、市議会最大会派としての矜持と市民の皆さまの代弁者たる自覚を堅持しながら、二元代表制の一翼を担い、緊張感のある議会運営に努めています。

国・地方を問わず、社会保障費は増大の一途をたどっています。市税収入が4年連続で過去最高を記録するなど、全国で最も活力があるとも言われる我が福岡市においても、今後本格化する超高齢化と人口減少の時代の見通しは必ずしも明るいとは言えません。

市民の皆さまが希望をもって、安全でかつ安心して暮らしていくことができるまちの将来像を描くために、そして、一人でも多くの市民の納得と共感が得られる市政を実現するために、福岡市独自の都市戦略を練りながら、ときには厳しい覚悟を持って政策資源の選択と集中を行っていかねばなりません。

我々自由民主党福岡市議団は、これからも市民の皆さまの声に真摯に耳を傾け、わかりやすく誠実な市政の実現に一致団結して邁進してまいります。

ホームページ <http://www.jimin-fukuokacity.com/>

公明党福岡市議団

平成30年度の予算編成にあたり、公明党福岡市議団は、市民生活に深くかかわる10分野88の項目に渡り代表質問を行いました。福岡市は現在、都市の成長と生活の質の向上の好循環を創り出す基本戦略のもと、まちづくりを進めております。その一方で、人生100年時代に象徴される超高齢化及び少子化による人口減少は社会保障を取り巻く大きな変化や労働力不足による産業への影響など、課題は山積しております。

あらゆる仕組みの持続可能性を探るうえで大切なことは削減することだけではなく、必要であれば新たなサービスや支援を加え、高齢者の暮らしや子育ての不安解消など細かなニーズに即した施策の充実にあると確信しております。

ピロリ菌検査への助成や性的マイノリティ者への支援開始など、これまで公明党が取り組んできた新たな施策が始まります。これからも私たちはどこまでも生活者の視点と声を原点として、市政の発展に取り組んで参ります。

ホームページ <http://www.komei-fukuokacity.net/>

会派の主張

平成30年度予算案や 条例案に対する 各会派の主張です。

福岡市民クラブ

平成30年度予算の審議に当たり、私たちは高島市政に対して厳しいチェックを行うとともに、会派が主張する「福岡市の目指すべき都市像」について、以下の三つの視点から様々な政策提案を行いました。

- 生活保障戦略…一人ひとりの命と幸せを大切に作る社会の実現
- 成長戦略…新アジア時代の成長プラットフォームシティ福岡を目指す
- 地域主権戦略…市民が自ら発言し、議論し、決定する仕組みづくり特に「人生100年時代」の到来を見据え、市民がいつまでも健康でいられる「健寿社会」実現に向けた基盤づくりが急務であると主張しました。

主な政策提言として、子育て支援と子どもの貧困対策、健康づくりに積極的に取り組む市民を支える制度の拡充、新鮮な魚介や野菜をはじめとする「福岡の食」を国内外に発信して集客・販売につなげる経済施策、教師が子どもと向き合う時間を確保するための負担軽減策などについて、新年度予算に反映させるよう求めました。

ホームページ <http://fukuokashimin.jp/>

日本共産党福岡市議団

高島市長は「私の夢」という博多駅と港を結ぶロープウェイ構想や、国家戦略特区のもとでの航空法高さ規制緩和による高層ビル促進など、ムダな大型開発に熱中しています。他方で、「税金で全てを解決するのはもう古い」と記者会見で叫び、「市民参加」「支える福祉」という名目で地域に仕事を押しつけ福祉をくずそうとしています。特に高齢者乗車券を縮小し、町内会や健康づくりをする人にだけポイントをつける案を検討しており、市民から反対の署名運動が起きています。

私たちはアベノミクスの実験場になっている市長の大型開発・規制緩和の路線をやめ、国保料引き下げ、特養ホーム・保育所の抜本増、学校の特別教室へのエアコン設置、子どもの貧困対策充実、ブラック企業規制条例など市民の暮らしを応援するよう求めました。そうすれば地域の中小業者にも仕事がまわり地元経済も元気になります。



ホームページ <http://www.jcp-fukuoka.jp/>

みらい・無所属の会

私たちみらい・無所属の会は、地方分権時代に求められる政策集団です。

真の市民会派として、皆さまの負託に応え、成熟化社会を迎えた少子高齢化時代にあっても、発展し続ける福岡市を目指し、皆さまの声をしっかりと聞き活動を続けています。

会派の基本政策である「行財政改革」を着実に推進し、財政健全化を図るとともに、市民生活を支える必要な財源確保に取り組んでまいります。また、子育て支援の充実や高齢者の介護予防・健康づくり、地域コミュニティや自治組織の活動支援など、市民生活優先の取り組みを推進してまいります。

平成30年度も、広い視野と高い見識のもと、真の市民会派として、市民の視点に立ち、「人と自然が共生し、未来を担う子どもたちに夢と希望を与える街・福岡」の実現に向けて、鋭意努力してまいります。

この手で福岡のみらいを。

ホームページ <http://www.mirai-f.gr.jp>

福岡維新の会

私たち福岡維新の会は、先人が築かれたこの福岡市を、「市民一人一人が生き生きと暮らせるまち」「安心・安全のまち」に育てることを目指し、市民の皆さまの声がしっかりと市政に反映されるよう、行財政改革、議会改革、教育の充実を中心に以下の施策推進に精一杯取り組んでまいります。

- 行財政改革：職員の総人件費や外郭団体の見直しなど財政健全化
- 議会改革：議員定数の見直し、議会放送の拡充などの議会活性化
- 教育の充実：教育基本条例の制定、教育委員会改革など
- 経済振興：地場中小企業・商店街振興・新産業支援の推進
- 雇用：若者、中高年者、障がい者、女性、生活保護者の就労支援
- 子育て：待機児童問題解消をはじめ、産み育てやすいまちの推進
- 環境：PM2.5や黄砂など大気汚染に関する対策、調査や情報提供など
- 防災防犯：災害に強く、犯罪の少ない安心・安全なまちづくり
- 福祉：障がい者支援施策、高齢者の健康づくり

メール fukuokaishin@yahoo.co.jp

自民党新福岡

私たち自民党新福岡は、地域のために何ができるかを常に自らに問い、地域の声をカタチにするために汗を流し、自分たちが生まれ育ったこの大好きな福岡をもっといいまちにしたいという強い意志をもって議員となった3人です。

福岡市では好調な地域経済のもと、市税収入が4年連続で過去最高を更新しており、本年度は、全中学校へのスクールソーシャルワーカーの配置や、全小学校での放課後補充学習の実施など教育予算の充実、保育所への医療的ケア児の受入や発達障がい者支援の拠点施設検討、人工授精にかかる費用への助成開始など、これまで実現が難しかった分野へのきめ細やかな心配りが特徴的な予算となっています。

今後も、この住みやすいまちをより一層発展させ、将来に引き継いでいくために、自民党議員としての誇りと自覚、責任を持ち、高島市長をはじめ、行政ともしっかりと議論しながら、地域の声をカタチにできるよう、全力で取り組んでまいります。

緑と市民ネットワークの会

人口減少社会・超高齢社会に突入した日本では経済成長は望めず、他方、格差の拡大や子どもの貧困問題、子育て問題、移動や介護制度が問題となっており、いかに持続可能な社会を実現するかが求められています。私たちは、中小零細企業を支援し、教育及び介護や福祉の現場に優先的に投資することで市民の生活の質の向上と雇用を生み出し、地域で循環する経済をつくることで持続可能な都市にすることを提案しています。また、様々な地域課題に取り組む団体や社会活動に取り組む非営利団体に公的支援を強化することで、地域社会を活性化することを提案しています。無秩序な都市膨張は教育現場に混乱をもたらし、住環境を悪化させています。行政需要に対応するようコントロールが必要です。高島市政が進める「都市の成長が生活の質の向上をもたらす」という政策は、「市民生活の質の向上が持続可能な社会をつくる」にすべきです。

ホームページ <http://midoritonet.info/>